



#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市老人クラブ連合会は、令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症対策のため活動を自粛せざるを得なかったが、令和4年度は規模を縮小しつつも、スポーツ大会や芸能大会、奉仕活動等さまざまな活動を定期的で開催して会員の交流や健康の増進を図っており、高齢者の生活の充実に寄与している。このため本事業を継続し、今後も高齢者の生きがいや健康づくりを推進することにより、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上に貢献していく必要がある。
見直し・改善内容	特に改善する必要なし